

NCGM 国際医療協力局の専門家、橋本麻由美 助産師が 日本助産学会奨励賞を受賞しました

NCGM 国際医療協力局の橋本麻由美助産師が、「日本助産学会奨励賞」を受賞し、平成 28 年 3 月 19 日に開催された第 30 回日本助産学会学術集会にて表彰されました。

日本助産学会奨励賞は、助産実践の向上や技術開発発展に向けての貢献及び助産実践臨床への示唆に貢献したものに授与されます。

橋本麻由美助産師は、諸外国での経験や知見を紹介し、当該地域が抱える助産を取り巻く諸問題に取り組むとともに、WHO の勧告からみた日本における正常分娩のケアの実際を分析して、女性が求めるケアのあり方について研究するなど、助産師活動のグローバル化を見据えた精力的な活動が高く評価されました。



【略歴】

橋本麻由美（はしもとまゆみ）

平成 3 年に、九州大学医療技術短期大学助産学専攻科卒業後、国立国際医療センター（現：国立国際医療研究センター）にて助産師として勤務。国際医療協力局では、東南アジアや仏語圏アフリカ地域において、助産師教育や助産業務範囲指針といった国家レベルの法規制定支援に従事すると同時に、国内外の出産ケア等に関する研究成果を日本助産学会や国際助産師連盟学術集会で発表している。2008 年看護学修士。